

《履修上の留意事項》2020年度開講なし

《担当者名》 高橋由紀〔看〕 池森康裕〔看〕

【概要】

介護を必要とする人々の生活ニーズを理解するとともに、「尊厳を保持」した「自立支援」の視点から生活支援技術を展開する。安全安楽な介護を提供するために、感染予防や介護従事者の健康・安全対策を理解する。

【学習目標】

<一般目標>

介護を必要とする人のために介護者側の基礎的知識を理解する。

<行動目標>

1. 利用者のニーズに沿って、日常生活動作の自立支援ができる。
2. チームアプローチの必要性と他職種役割を理解し、説明できる。
3. 利用者の安全確保と、介護従事者の健康管理の必要な知識について説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	生活の視点と介護の歴史	高橋由紀
2	介護を取り巻く状況	人口構造の推移から高齢社会における諸問題について学ぶ。	高橋由紀
3	認知症ケア	認知症の人の精神症状と行動障害について理解し、その支援方法を学ぶ。	高橋由紀
4	高齢者虐待・身体拘束	高齢者虐待・身体拘束とはどのようなことか、高齢者の尊厳保持を踏まえながら対応方法について学ぶ。また、養護者の対する支援について学ぶ。	高橋由紀
5)	食事介護の意義	食事介護の意義と嚥下のメカニズム（誤嚥・窒息の防止）を理解する。 要介護高齢者の食事介助（演習）ができるようになる。	池森康裕
6			
7	排泄介護の意義	排泄介護の意義と排泄障害について理解する。	池森康裕
8	入浴・清潔保持の介護	入浴・清潔保持の意義を理解する。 手・足の部分清拭（演習）ができるようになる。	池森康裕

【評価方法】

レポート100%

【備考】

教科書 : 無し。講義資料を配布する。

参考書 : 介護福祉士養成講座編集委員編集：最新・介護福祉士養成講座3 『介護の基本』 中央法規 2019
 介護福祉士養成講座編集委員編集：最新・介護福祉士養成講座4 『介護の基本』 中央法規 2019
 介護福祉士養成講座編集委員編集：最新・介護福祉士養成講座6 『生活支援技術』 中央法規 2019
 介護福祉士養成講座編集委員編集：最新・介護福祉士養成講座7 『生活支援技術』 中央法規 2019

【学習の準備】

1. 各自の興味ある介護問題を発表するので、新聞やインターネット等を活用して調べておくこと。
2. シラバスで内容を確認して、次回の学習課題について、予習しておくこと（80分）。
3. 5回目以降は、看護福祉学部棟介護実習室で行うため、動きやすい服装で参加すること。
4. 講義内容を説明できるように復習すること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP4）リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

高橋由紀（介護福祉士）、池森康裕（介護福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職として、実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。